

「秋田大学学生海外派遣支援事業」 帰国報告書

記入日：H27年3月30日

所属：教育文化学部 国際言語文化課程
日本・アジア文化選修 3年次

氏名：関根 羽澄

派遣先大学：国立ハンバット大学校（韓国）

在籍身分：留学

派遣期間：1年間

渡航年月日：H26年2月26日

帰国年月日：H27年2月7日

○派遣先大学における授業等の履修状況

講義名	履修期間	時間(1週)	単位数
Korean Reading & Writing (Intermediate)	H26年3月～6月	3時間	3
Korean Listening & Speaking (Intermediate)	H26年3月～6月	3時間	3
Intensive Korean (Intermediate)	H26年3月～6月	3時間×2回	6
Korean Grammar	H26年9月～12月	3時間	3
Korean Listening & Speaking (Advanced)	H26年9月～12月	3時間	3
Korean Reading & Writing (Advanced)	H26年9月～12月	3時間	3
Intensive Korean (Advanced)	H26年9月～12月	3時間×2回	6

○研究・学習概要及び今後の勉学計画

留学しながら、卒業論文の資料集めをしていました。卒業論文のテーマが韓国文化についてだったので、日本での収集が難しい現地の人へのインタビューを積極的に行いました。履修した授業により、語学面もとても成長できました。留学生活を終える頃には、韓国語能力試験5級に合格することができました。現在は、その語学や留学で得た経験を生かした企業に就職すべく就職活動をしています。

○生活面について

実際に生活してみて、なかなか慣れなかったことや大変なことは正直多かったです。寮の食事はおいしいとは言えなかったです。他国の人がルームメイトである寮生活はそれぞれの習慣の違いやマナーの違いにより苦勞しました。しかし、韓国人の友達や他国の友達との交流はとても楽しかったし刺激になりました。韓国人の友達には、韓国を案内してもらったり、おいしいご飯のお店につれていってもらったりしました。他国の友達とは、一緒に韓国語の授業を受けたり、テストの前には一緒に図書館で勉強したりすることもありました。長期休みには、韓国国内の観光や旅行に行きました。

師弟プロジェクト(日本語学科の先生と)



○その他留学全般にわたる感想

韓国留学は、高校生のころからの夢であり目標でした。それまで、憧れでしか見ていなかった韓国に実際に滞在することによって、新しい発見の毎日でした。また、自分自身、人として成長することもできたと思います。1人で留学することによって、なにもかも1からのスタートでした。そこから、積極性や行動力が身に付き、充実した留学生活を送れたと思います。そして視野を広げることもできました。外国から見た日本、海外

からは日本をこのように見ている、日本人が見る日本とは違う、新たな日本の一面も知ることができました。今回の交換留学は、わたしの人生の、かけがえのない素敵な思い出になりました。



韓国料理作り体験で実際に作った韓国料理